

住みよいまちづくり情報誌

Vol.27

平成21年3月24日

発行 住みよいまちづくり新荘会
 (水戸市新荘市民センター内)
 (〒310-0036) 水戸市新荘2-11-2
 Tel.029-221-7851

責任者 住みよいまちづくり新荘会
 会長 奥田 俊亮

編集 新荘会広報部

印刷 常磐総合印刷株式会社
 題字・坂 俊治

と き め き 新 荘

新荘学区の常住人口 世帯数 2,979
 男 2,992 女 3,336 合計 6,328 (平成21年2月1日現在)

年齢別人口 0～14才 684 (10.1%) 15～64才 4,120 (61.0%)
 65才以上 1,953 (28.9%) (平成21年3月1日現在)

新荘小学校児童数の推移 (各年度3月1日現在)

平成	13	14	15	16	17	18	19	20
人	358	338	308	301	315	318	314	306

	午前	午後
3月7日(土)	10:00～10:30 コーラス発表会	12:00～12:30 童謡発表会
	10:30～12:00 フォークダンス	13:30～14:30 太極拳
	10:00～12:00 裏千家茶道	13:00～15:00 石州茶道
3月8日(日)	10:00～12:00 歌謡クラブ発表会	13:00～15:00 ふれあい交流会
	9:00～11:30 バザー	
	10:00～12:00 指圧	



交流会・新荘小児童の演奏に傾聴



童謡教室 幼い頃にかえって

新荘ふれあいまつり

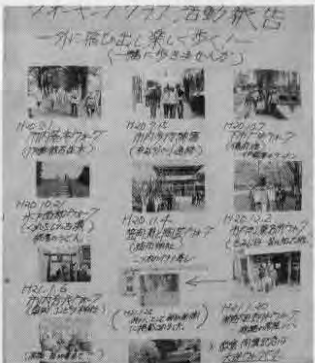
平成二十一年三月七日、八日の二日間にわたり、新築落成した新荘市民センター(公民館)において開催されました。新しい建物での最初の「ふれあいまつり」には、多数の参加があり、楽しさあふれる交流会になりました。

ステキな音楽の演奏

作品展示

市民サロンでまつり期間中 終日展示

中国語・ふるさと歴史研究・古文書・ウォーキングクラブ



この1年の成果です。

【講座作品展示会】常陽銀行末広町支店ロビー

講座名	展示期間
書道	2月16日～2月27日
パッチワーク	3月2日～3月13日
ペン習字	3月16日～4月3日
山野草	4月6日～4月10日
手まり教室	4月13日～4月24日

54年前の新荘地区の貴重なフィルムを上映!



フォークダンス モノクロで残念!



茶道教室 静かな時が流れます



第40回

花の絵コンクールで見事金賞・入賞者多数

豊かな情操と自然を愛する心を育てることを目的とした「花の絵コンクール」が、水戸市住みよいまちづくり推進協議会主催で、表彰式が行われました。



▲ 金賞 安藤 貴人 (新莊小4年)

<p>👑 金賞 安藤 貴人 (新莊小4年)</p> <p>佳作 保坂 早希 (新莊小1年)</p> <p>// 澁谷 理恵 (新莊小3年)</p> <p>// 大場真裕子 (新莊小4年)</p> <p>// 千ヶ崎健太 (新莊小5年)</p> <p>// 帯刀 聖人 (新莊小5年)</p> <p>// 柴 哲次郎 (新莊小6年)</p>	<p>銅賞 外山太一郎 (茨城中3年)</p> <p>佳作 鈴木 結女 (第一中2年)</p> <p>// 野澤 芽生 (茨城中2年)</p> <p>// 池永 将和 (第一中3年)</p> <p>// 柏 友希 (第一中3年)</p> <p>// 柴 元太郎 (第一中3年)</p>
---	--



▲ 水戸芸術館での表彰式

皆さんの努力をたたえ、9月28日、水戸芸術館で表彰式が行われました。



水戸郷土かるた大会



「かるた中央大会」熱戦模様

例年通り水戸をテーマとした「水戸郷土かるた」のかるたとり大会が市内各学区ごとに行われました。A1780人(小1~小3)、B2050人(小4~小6)が中央大会を目指して各学区大会に参加しました。2月14日武道館にて中央大会が行われました。新莊学区大会を勝ち抜いたA2チームB2チームが各々トーナメント戦を行い、優勝を目指してがんばりました。

昨年の雪辱を見事はたしてBチームがチームワークを発揮して第3位に入賞しました。チーム「NHK」です。小野香さん、山口日菜子さん、平岡夏希さん、いずれも小6女子による構成です。

他の3チームも殊勲賞を受賞しました。熱のこもった充実した一日でした。

来年もより多くの参加チームが大会を盛り上げて欲しいものです。



おめでとうございます！

市民清掃功労団体ほう賞

新莊一丁目東町内会

- 三十五年 細谷 規行 (松本町一丁目三区)
- 二十五年 坂場 鶴吉 (新莊一丁目十三)
- 二十年 和田 忠男 (北町)
- 十五年 大津 順一郎 (柳小路)
- 十年 齊藤 高保 (松本町二丁目)
- 十年 長山 保夫 (馬口労町四丁目)

永年勤続自治会長 ほう賞受賞者

三月七日(土)「第十三回水戸市民の集い」が、水戸市長加藤浩一様はじめ、各地区の代表者が市民会館に集い開催され、各部門のほう賞が行われました。地区の受賞者、団体は次のとおりです。

第十三回 水戸市民の集い開催

◎会員の皆様と共に歩んだ六十年

地域の女性の社会参加を求めて、活動してきた、水戸市「新莊女性の会」創立六十年記念式典が、平成二十年十二月四日、新莊市民センターで開かれました。



榎山会長はじめ会員ら百五十人が出席し、節目を祝うとともに、今後の飛躍を誓いました。

同会は、一九四八年に発足し、会員数は現在八百人。市内最大規模で、地域の祭りや敬老会・料理教室など多彩な活動を展開しています。

式典には、歴代会長はじめ、加藤浩一市長、鯨岡武市教育委員会教育長、河合トシコ市地域女性団体連絡会長、などが出席しこれからも会員とともに、精一杯頑張っていくとする意欲が、伝わってくる式典でした。

市民運動会

田仲 宏江

私は、車イスで市民運動会を見に行くようになって、二年たちます。

「なぜ車イスの人が、運動会にくるのかしら。」と不思議に思う方がおられることは、事実です。

「一人ぐらしで、さびしくありませんか」と、よく聞かれます。

私は、家にとじこもらず、前向きな生き方をするように努力しています。

時々、散歩をしたりして、知らない人に声をかけたり、犬や猫に話しかけたりして、とても楽しんでいきます。段差があり、車イスが登れ



おとうさん、おかあさん
お子さんをおとさないで!

ない時、「お手伝いしましょう」と、いつてくださることも、私にとって、とても嬉しいことです。

人と人とのコミュニケーションを大切に、観梅やお花見、七夕まつりと、行事がたくさんあります。

車イスの私には、偕楽園の中の砂利道は大変です。やさしい環境作りをしていただければと思います。

運動会は日常生活の貴重な活力源になり、私にも参加できるものがあれば嬉しく、大きな声で応援したいです。

地域で、お会いすることがあります時には、お声をかけてください。

◎思わず
みとれてしまいました

9/15 敬老会

いつまでもお元気で

◎昔をなつかしんで
皆で童謡をうたいました



台風の日 吹きとばされそうだね

お腹もすいてきました。

11/6 常陸太田を歩く

太田市は、久慈川の支流の里川と、源氏川の浸食からとり残された、鯨ヶ丘と呼ばれる台地です。棚倉街道の商業地区として発展し、現在も土蔵や、蔵づくりの建物は、歴史を物語っています。山吹公園のもみじの紅葉もすばらしく、あたたかい昼食は、とてもおいしかったです。



坂道が多く大変でした、十王坂
(通称：だいこん坂)

老後の安心のために

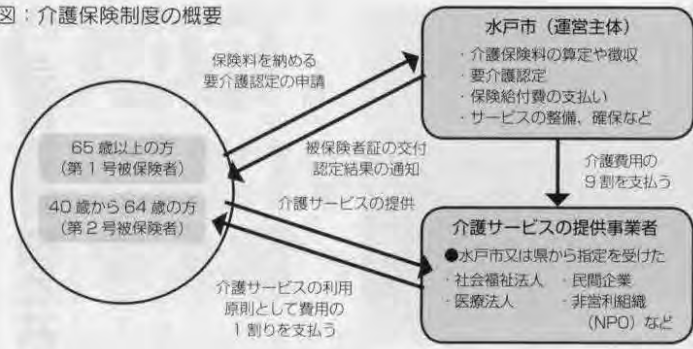
福祉厚生部長

青木 実

住みよいまちづくり新荘会と水戸市社会福祉協議会新荘支部の共催により、高齢者の福祉制度の講演会が二月十日(火)新荘市民センターで開催されました。

講演会は、「いきいき出前講座」の一環として、水戸市高齢福祉課課長補佐の堀口康夫氏を講師として迎えて、水戸市の高齢者福祉行政業務の説明をしていただき、市民と行

図：介護保険制度の概要



政が一体となってまちづくりを進めていく学習の場として開催したものです。

高齢者の福祉行政についての関心は大変高く、九十七名にものぼる多数の新荘地区市民が参加されました。

はじめに、新荘会の奥田俊亮会長からの、新荘地区は高齢化率が水戸市の市街地の中で一番高く、「新荘地区：二九% 水戸市：二〇%」安全・安心なまちづくりのためには、高齢者の福祉制度は一番大事な分野であり、避けることが出来ないテーマであるというご挨拶がありました。

講演は、「お年寄り便利帳」をテキストとして進められ、まずはじめに介護保険制度についてじっくり説明されました。次いで相談窓口や介護保険以外のサービス等についても触れられました。

介護保険制度は、高齢化や核家族化の進展等により、老後の最大の不安要因である介護を社会全体で支える新たな仕組みとして、平成十二年に創設・導入されました。介護保険は、四十歳以上の方全員

が加入し、皆さんから納めていただく保険料と公費(税金)をもとに介護サービスを提供することで、介護の必要な方をみんなで支える社会保険制度です。

介護保険を運営するための財源は、半分が国・県・市町村の公費(税金)、もう半分が、四十歳以上の方に納めていただく保険料から成り立っています。

介護保険のサービスを利用するためには、どのくらいサービスが必要な状態であるかを判断する「要介護認定」を受けることが必要です。その要介護認定に基づいたケアプランのサービスを介護サービスの提供事業者と契約して利用することができます。

介護サービスには、訪問介護や住宅改修等の居宅サービスと特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所して受ける施設サービス等があります。

サービスを利用した場合は、原則として、費用の1割が自己負担となります。施設サービスを利用した場合は、別に食費や居住費、日常生活費などは自己負担となります。

介護保険制度の導入により、従来の市町村の「措置」による福祉サービスでなく、利用者サービス提供事業者



「災害について」
「どう考えますか」

一月二十一日(水)、つくば市の防災科学技術研究所(世界最大級の耐震実験施設、大型降雨実験施設等を持つ日本の防災研究の拠点)の防災研修会に、地区の方々が参加されました。

当研究所では、気象状況・風水害・地震の発生予想等を気象庁に連絡して、日本全国

との「契約」により介護サービスを受けることが出来るようになりました。これにより市内の福祉施設が十数倍に増え、社会的ニーズが大きかったことを示しています。

介護保険以外のサービスとして、水戸市では、デイサービスや緊急通報システム等二十数項目のサービスがあります。また、高齢者の相談窓口と

して、地域包括支援センターや地域窓口センターがあり、高齢者の総合的な相談や高齢者福祉サービスの利用相談等を受け付けています。

この機会に、「お年寄り便利帳」をじっくり読んで、介護保険制度や高齢者の福祉制度をよく理解して、老後の不安要因を取り払って、生き生きとした生活を送りましょう。

に発信し、天気予報等をながしておるそうです。最近では、浅間地震(噴火)の情報を関係機関に連絡して、災害を未然に防止できたこと、日常のデータ解析を積み上げ災害防災に寄与できるように研究しているそうです。

新荘学区では、最近火災が二件も連続で発生しており、私達の身の回りを見直してはと思います。

「編集委員」

泉 英一・埴 美保子
細谷 規行・飛田美江子
中島まり子・鈴木 照子
中野 昌子

